2025 年 6 月 12 日

2026 年度（令和 8 年度）
受講生募集要項
全区分取得コース
領域別パッケージコース
（第 7 期生）

聖マリアンナ医科大学病院
看護師特定行為研修センター

St. Marianna University Hospital

聖マリアンナ医科大学病院
看護師特定行為研修センター

〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1
代表電話 044(977)8111 Fax 044(977)8131
お問合せは 看護師特定行為研修センター 事務局へ
内線：3925 e-mail：tokutei@marianna-u.ac.jp
土日祝日を除く、午前 9 時 00 分～午後 4 時 30 分
ホームページ http://www.marianna-u.ac.jp/hospital/

2026 年度（令和 8 年）看護師特定行為研修概要

1. 聖マリアンナ医科大学の理念

生命の尊厳を重んじ、病める人を癒す、愛ある医療を提供します。

2. 聖マリアンナ医科大学における特定行為研修の教育理念

看護の専門性を基盤に、医行為の学びを駆使し、急性期におけるチーム医療を自律的・主体的・協働的に実践できる看護師を育成する。

〈教育目標〉

1）急性期の臨床場面において病態の変化をアセスメントする能力を高める。
2）急性期の臨床場面において必要な治療を理解し、ケアを導くための能力を高める。
3）急性期の臨床場面において患者の安全を考慮し、必要な特定行為を安全に実践する技術を身につける。
4）問題解決に向けて多職種と協働する能力を高める。
5）自己研鑽に努め、臨床現場の変化に対応できる能力を高める。

3. 研修の特徴

指導医・専門医資格と教育経験のある医師による面接講義・演習・実習を行います。また、特定の医行為の経験をもつ診療看護師・特定看護師による手厚い支援体制の下、助言・指導を受けながら演習、実習を進めていきます。医学情報センターやシミュレーションセンターを有効に活用した文献学習や技能トレーニングを行います。また、急性期の臨床場面で求められる医療機器に関する知識や薬剤関係の知識など、特定行為教育に携わった経験のある薬剤師・臨床工学技士・臨床検査技師からの指導を受けられる教育カリキュラムとしています。

特に、チーム医療における特定看護師に求められる役割についても、医学教育と連動しながら看護師としての役割について改めて学び直す独自のカリキュラム構成としております。他職種と協働していくことでお互いに学びあえる環境となっています。

また、2025 年度より 21 区分 38 行為の研修に加えて、新たに「7 つの領域別パッケージ」研修を追加しました。働きながら学べる環境を提供し、看護師としての学びの選択肢を広げます。

さらに、本学研修修了者は、将来のキャリアプランに応じて、特定行為区分の追加履修を可能とします。

4. 募集定員:9 名

1)全区分取得コース:3 名程度

2)領域別パッケージコース:2 名～9 名

※各特定行為区分・行為数の受け入れ可能数の範囲内の人数とします。

(1)集中治療領域

(2)救急領域

(3)循環器領域

(4)外科術後病棟管理領域

(5)麻酔管理領域

(6)在宅・慢性期領域

(7)腎臓・透析領域

5. 研修期間

原則 1 年間 (2026 年 4 月～2027 年 3 月)とします。

領域別パッケージに限り、集合研修以外は就業を可能とします。共通科目の履修後に区分別科目(選択制)の受講となり、1行為5症例の経験にて履修とみなされるまでの期間となります。

6. 在籍期間

在籍期間 2年

※但し、履修免除された行為の追加履修を希望する場合は、翌年に限り可能とします。

7. 特定行為の追加履修

1)領域別パッケージにない行為の追加取得を希望する場合は、1 区分 1 行為から追加ができます。但し、追加履修する区分の料金が発生します。

2)領域別パッケージで免除された行為の受講を希望する場合は、翌年に限り追加料金なしで受講ができます。

3)本研修機関の領域別パッケージを履修した翌年以降に追加履修を希望する場合は、共通科目の学習を免除します。但し、追加履修する区分の料金は発生します。(詳細な条件は別途定めます)

4)認定課程(B 課程)を修了した方で、区分の追加履修を希望する方は1区分より履修ができます。

上記1)2)3)4)詳細は事務局にお問い合わせ、ご相談ください。

8. 出願資格

次に定める要件を全て満たしていることが必要です。

1)看護師免許を有すること (日本国の看護師免許取得者)

2)看護師免許取得後、通算 5 年以上の実務経験を有すること

3)所属長の推薦を有すること

4)聖マリアンナ医科大学病院・協力施設(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院・川崎市立多摩病院・ソレイユ川崎)での実習が可能な者

5)法人外の受講者は、自施設での実習が可能なこと

9.　出願前相談

受験前に履修内容、カリキュラムなどについて事前に事務局職員へ相談ができます。相談の申込は電子メールによりお受けします。件名は「看護師特定行為研修事前相談申込」としてメールを送信してください。メール本文には、①氏名、②電話番号（対応可能な時間帯、連絡可能な電話番号）など③所属施設名、所属部署、④相談内容を記載ください。

10.出願手続

1）募集要項請求方法

聖マリアンナ医科大学病院ホームページ「看護師特定行為研修センター」から必要書類をダウンロードしてください。

（https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/staff/hospital/nursing-training-center.html）

2）出願に必要な書類

〈出願提出書類〉

書類の種類と名称		記入上の注意点
様式 1	受講申請書	記入漏れがないようを確認のうえ提出ください
様式 1-2	受講区分申請書	受講希望する区分・行為にチェックをしてください。
様式 2	履歴書	①写真はカラーで 3 ヶ月以内に撮影されたものを指定の場所に貼り付けてください。 ②連絡先の電話番号・e-mail は必ず確認がとれる番号・アドレスを記入ください。出願以降の連絡はすべて履歴書に記載された連絡先にお送りします。 ③資格は学会認定、日本看護協会認定を記入ください。また、資格、研修受講歴は取得受講年度もご記入ください。 ④職務は、現在取り組んでいる内容を具体的に記入ください。 ⑤病院以外の職歴がある方は全て記載ください。 *※本学職員の方はマリアンナメールをお使いください*
様式 3	推薦書	所属長が記載したものを提出ください。

2）　出願の方法

1）電子メール（必要書類を添付）または事務局まで持参または郵送（簡易書留）ください。

※郵送の場合：出願最終日　当日必着とします。

2）電子メールの場合は、以下の手順にて事務局メールアドレスまで送ってください。

※添付ファイルは「PDF」にし、Zip フォルダにまとめたうえで、パスワードをかけてください。

パスワードは別メールでお知らせください。

（１）　メールタイトル：「2026 年度　研修受講申請書類」
（２）　添付書類：フォルダ名：氏名　施設名　（例：川崎マリ子　〇〇病院　）
（３）　フォルダ内書類：①様式 1，1-2　②様式 2　③様式 3

■聖マリアンナ医科大学病院　看護師特定行為研修センター事務局　内線：3925

e-mail：tokutei@marianna-u.ac.jp

【受験に係る個人情報の取り扱いについて】

本センターでは、受験に際して志願者から収集した個人情報については次のように扱いますのでご了承ください。

□利用目的：出願に当たって提供された氏名、住所およびその他の個人情報は、次に掲げる目的に利用します。

① 選考試験の実施、受講手続等、入講までの一連の業務のため

② 入講後の履修関係およびそれらの各種連絡通知を行うため

□第三者への個人情報の提供について

① 当センターが取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合や秘密保持契約等の契約を締結した業務に資料発送等の業務を委託する場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

■出願・入講までの流れ

項目	全区分取得コース	領域別パッケージ
申請期間	2025 年 10 月 27 日（月）～ 11 月 14 日（金）	2025 年 11 月 17 日（月）～ 12 月 3 日（水）
一次審査 書類選考	2025 年 11 月 17（月）～21 日（金）	2025 年 12 月 8 日（月）～12 日（金）
二次審査 面接・筆記試験 ・小論文	2025 年 12 月 5 日（金）	2025 年 12 月 17 日（水）～19 日（金）
合格発表	2025 年 12 月 18 日（木）	2026 年 1 月 29 日（木）
入講手続き期間	2025 年 12 月 19 日（金）～ 2026 年 1 月 9 日（金）	2026 年 1 月 30 日（金）～ 2 月 13 日（金）

11. 申請の際の注意事項

1） 書類がすべてそろっているか十分ご確認ください。

2） 書類の記入にあたっては、記入もれや誤字がないようご確認ください。

3） 一度受理した出願書類は返却致しません。

12. 面接日時は調整のうえ事務局よりメールにてご連絡致します。

13.入講手続きについての詳細は本人の e-mail にご連絡します。

14.受講料

1）法人内職員は看護師特定行為研修にかかる受講料の補助が受けられます。貸与希望者は人事課または看護師特定行為研修センター事務局にお問合せください。

2）振込期間については受講決定後にお知らせ致します。

15.受講料

□全区分取得コース （21 区分 38 行為）	共通科目＊	区分科目＊＊	合計(税込み)
	￥45,0000	￥105,0000	￥150,0000

パッケージ領域コース	共通科目＊	区分科目＊＊	合計(税込み)
集中治療領域	¥450,000	¥493,800	￥943,800
救急領域		¥415,800	￥865,800
循環器領域		¥441,800	￥891,800
外科術後病棟管理領域		¥515,800	￥965,800
麻酔管理領域		¥381,800	￥831,800
在宅・慢性期領域		¥288,000	￥738,000
腎臓・透析領域		¥214,000	￥664,000

□【法人内受講生の場合】

＊共通科目の受講料は免除します

＊＊区分別科目においては、研修費貸与規程に基づき受講料の一部（半額）の貸与が受けられます。

16. 研修内容と時間数・受講参加方法

1）研修は、「共通科目」と「区分別科目」に分かれています。

2）共通科目は全ての受講が必要となります。E-ラーニングの自己学習に加え、週 2 回程度の集合研修への参加が必須となります。

3）共通科目修了後に区分別科目の学習に進みます。

4）区分別科目は、E-ラーニングの自己学習と、履修する区分・行為の集合研修（演習・実習）への参加が必須となります。

5）教材学習は、学研の教材を使用します。（教材の閲覧は学内外で可能です）

＊詳細は時間割を確認のうえ、勤務調整を行ってください。

【共通科目】

共通科目	時間数＊
臨床病態生理学	32 時間
臨床推論	46 時間
フィジカルアセスメント	47 時間
臨床薬理学	47 時間
疾病・臨床病態概論	41 時間
医療安全学/特定行為実践＊＊	45 時間
合計	258 時間

＊上記時間数以外に独自の講義・演習が加わる場合があります。

＊＊特定行為実践：特定看護師に求められる能力に関する演習も選択できます。

【区分別科目】

区分名		特定行為名		時間数	症例数
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	1	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	12	5
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	2	侵襲的陽圧換気の設定の変更	47	20
		3	非侵襲的陽圧換気の設定の変更		
		4	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		
		5	人工呼吸器からの離脱		
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	6	気管カニューレの交換	12	5
4	循環器関連	7	一時的ペースメーカの操作と管理	28	20
		8	一時的ペースメーカリードの抜去		
		9	経皮的心肺補助装置の操作と管理		
		10	大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整		
5	心嚢ドレーン管理関連	11	心嚢ドレーンの抜去	10	5
6	胸腔ドレーン管理関連	12	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定・変更	17	10
		13	胸腔ドレーンの抜去		
7	腹腔ドレーン管理関連	14	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）	12	5
8	ろう孔管理関連	15	胃ろうカテーテルもしくは腸ろうカテーテル又は胃瘻ボタンの交換	28	10
		16	膀胱ろうカテーテルの交換		
9	栄養に係るカテーテル管理	17	中心静脈カテーテルの抜去	10	5
10	栄養に係るカテーテル管理	18	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	15	5
11	創傷管理関連	19	褥瘡および慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	38	10
		20	創傷に対する陰圧閉鎖療法		
12	創部ドレーン管理関連	21	創部ドレーン抜去	9	5
13	動脈血液ガス分析関連	22	直接動脈穿刺法による採血	19	10
		23	橈骨動脈ラインの確保		
14	透析管理関連	24	急性血液浄化療法における血液透析器および血液透析濾過器の操作・管理	12	5
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	25	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	19	10
		26	脱水症状に対する輸液による補正		
16	感染に係る薬剤投与関連	27	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	30	5
17	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	28	インスリンの投与量の調整	16	5
18	術後疼痛管理関連	29	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与・調整	9	5
19	循環動態に係る薬剤投与関連	30	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	35	25
		31	持続点滴中のナトリウム、カリウム、クロールの投与量の調整		
		32	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整		
		33	持続点滴中の糖質輸液・電解質輸液の投与量の調整		
		34	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整		
20	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	35	抗けいれん剤の臨時の投与	30	15
		36	抗精神病薬の臨時の投与		
		37	抗不安薬の臨時の投与		
21	皮膚損傷に係る薬剤投与関連	38	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射・投与量の調整	17	5
		計		425	190

【領域別パッケージ】

集中治療領域

9 区分 15 行為:162 時間　　区分別科目受講料:　￥943,800(税込)

【必須項目】

区分	区分・行為	時間数	行為数
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	12	1
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	5	
	行為 2:侵襲的陽圧換気の設定の変更	14.5	1
	行為 4:人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	8	1
	行為 5:人工呼吸器からの離脱	9	1
3	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	12	1
4	循環器関連	4	
	行為 7:ペースメーカの操作及び管理	6	1
9	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	10	1
10	栄養に係るカテーテル管理(末消留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	15	1
13	動脈血液ガス分析関連	5	
	行為 23:橈骨動脈ラインの確保	7	1
19	循環動態に係る薬剤投与関連	8	
	行為 30:持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	6	1
	行為 31:持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	5	1
	行為 32:持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	5.5	1
20	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	30	3
	9 区分 15 行為	162	15

※上記を必須とし、以下の区分・行為は選択性とします。(上記の区分に含まれている行為の場合は別途料金は発生しません)

【選択行為】

区分	区分・行為	時間数	行為数
2	行為 3:非侵襲的陽圧換気の設定の変更	10.5	1
4	行為 8:一時的ペースメーカリードの抜去	6.5	1
	行為 9:経皮的心肺補助装置の操作及び管理	6.5	1
	行為 10:大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	5	1
13	行為 22:直接穿刺法による採血	7	1
19	行為 33:持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	5	1
	行為 34:持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	5.5	1
	4区分 7 行為	46	7

＊区分別科目においては時間数とは別に、経験すべき症例数として行為毎に5症例を所属する施設にて実習を行います。

救急領域

7 区分 15 行為:155.5 時間　　区分別科目受講料:　￥865,800(税込)

【必須項目】

区分	区分・行為	時間数	行為数
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	12	1
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	47	4
10	栄養に係るカテーテル管理 (末消留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	15	1
13	動脈血液ガス分析関連	19	2
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	6	
	行為 26:脱水症状に対する輸液による補正	6.5	1
19	循環動態に係る薬剤投与関連	35	5
20	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	8	
	行為 35:抗けいれん剤の臨時の投与	7	1
	7 区分 15 行為	155.5	15

※上記を必須とし、以下の区分・行為は選択性とします。(上記の区分に含まれている行為の場合は別途料金は発生しません)

【選択行為】

区分	区分・行為	時間数	行為数
15	行為 25:持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	6.5	1
20	行為 36:抗精神病薬の臨時の投与	7	1
	行為 37:抗不安薬の臨時の投与	8	1
	2 区分 3 行為	21.5	3

＊区分別科目においては時間数とは別に、経験すべき症例数として行為毎に5症例を所属する施設にて実習を行います。

循環器領域 〈RAN オリジナル〉

8 区分 20 行為:183 時間　　区分別科目受講料:　￥891,800(税込)

【必須項目】

区分	区分・行為	時間数	行為数
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	12	1
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	47	4
4	循環器関連	28	4
6	胸腔ドレーン管理関連	17	
9	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	10	1
10	栄養に係るカテーテル管理 (末消留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	15	1
13	動脈血液ガス分析関連	19	2
19	循環動態に係る薬剤投与関連	35	5
	8 区分 20 行為	183	20

※上記を必須とし、以下の区分・行為は選択性とします。(上記の区分に含まれている行為の場合は別途料金は発生しません)

【選択行為】

区分	区分・行為	時間数	行為数
3	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	12	1
	1 区分 1 行為	12	1

＊区分別科目においては時間数とは別に、経験すべき症例数として行為毎に5症例を所属する施設にて実習を行います。

外科術後病棟管理領域

12 区分 20 行為:199 時間　　区分別科目受講料:　￥965,800(税込)

【必須項目】

区分	区分・行為	時間数	行為数
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	12	1
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	5	
	行為 2:侵襲的陽圧換気の設定の変更	14.5	1
	行為 3:非侵襲的陽圧換気の設定の変更	10.5	1
3	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	12	1
6	胸腔ドレーン管理関連	17	2
7	腹腔ドレーン管理関連	12	1
9	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	10	1
10	栄養に係るカテーテル管理 (末消留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	15	1
12	創部ドレーン管理関連	9	1
13	動脈血液ガス分析関連	19	2
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	19	2
18	術後疼痛管理関連	9	1
19	循環動態に係る薬剤投与関連	35	5
	12 区分 20 行為	199	20

※上記を必須とし、以下の区分・行為は選択性とします。(上記の区分に含まれている行為の場合は別途料金は発生しません)

【選択行為】

区分	区分・行為	時間数	行為数
2	行為 4:人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	8	1
	行為 5:人工呼吸器からの離脱	9	1
	1 区分 2 行為	17	2

＊区分別科目においては時間数とは別に、経験すべき症例数として行為毎に5症例を所属する施設にて実習を行います。

麻酔管理領域

7 区分 15 行為:150.5 時間　　区分別科目受講料:　￥831,800(税込)

【必須項目】

区分	区分・行為	時間数	行為数
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	12	1
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	5	4
13	動脈血液ガス分析関連	19	2
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	6	
	行為 26:脱水症状に対する輸液による補正	6.5	1
17	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16	1
18	術後疼痛管理関連	9	1
19	循環動態に係る薬剤投与関連	35	5
	7 区分 15 行為	150.5	15

※上記を必須とし、以下の区分・行為は選択性とします。(上記の区分に含まれている行為の場合は別途料金は発生しません)

【選択行為】

区分	区分・行為	時間数	行為数
15	行為 25:持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	6.5	1
	1 区分 1 行為	6.5	1

＊区分別科目においては時間数とは別に、経験すべき症例数として行為毎に5症例を所属する施設にて実習を行います。

在宅・慢性期領域

5 区分 5 行為:87.5 時間　　区分別科目受講料:　￥738,000(税込)

【必須項目】

区分	区分・行為	時間数	行為数
3	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	12	1
8	ろう孔管理関連	10	
	行為 15:胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	9	1
11	創傷管理関連	12	
	行為 19:褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去	16	1
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	6	
	行為 26:脱水症状に対する輸液による補正	6.5	1
17	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16	1
	5 区分 5 行為	87.5	5

※上記を必須とし、以下の区分・行為は選択性とします。(上記の区分に含まれている行為の場合は別途料金は発生しません)

【選択行為】

区分	区分・行為	時間数	行為数
8	行為 16:膀胱ろうカテーテルの交換	9	1
11	行為 20:創傷に対する陰圧閉鎖療法	10	1
15	行為 25:持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	6.5	1
	3 区分 3 行為	25.5	3

＊区分別科目においては時間数とは別に、経験すべき症例数として行為毎に5症例を所属する施設にて実習を行います。

腎臓・透析領域 〈RAN オリジナル〉

5 区分 10 行為:91 時間　　区分別科目受講料:　￥664,000(税込)

【必須項目】

区分	区分・行為	時間数	行為数
9	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	10	1
10	栄養に係るカテーテル管理 (末消留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	15	1
14	透析管理関連	12	1
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	19	2
19	循環動態に係る薬剤投与関連	35	5
	5 区分 10 行為	91	10

＊区分別科目においては時間数とは別に、経験すべき症例数として行為毎に5症例を所属する施設にて実習を行います。

【学習度予定表】

2025年度 看護師特定行為研修センター 学習進度表

全区分取得コース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
科目	共通科目			共通科目:特定行為実践:特定行為に求められる能力と役割:38.5時間								
				区分別科目								
学習課題	eラーニング・演習・実習			eラーニング・演習・実習(手技観察評価) OSCE評価				統合実習				
学習内容	臨床病態生理学 臨床推論 フィジカルアセスメント 臨床薬理学 疾病・臨床病態概論 医療安全学/特定行為実践			21区分38行為	基礎実習Ⅰ	基礎実習Ⅱ		38行為×5症例:190症例 38行為の症例数を実践するための情報取集・調整・実践(手順書の作成・見直し)				
学習形態	集合教育											
所属施設の就業形態	1年間 出張扱い											

※領域別パッケージコース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	共通科目			区分別科目			行為取得					
学習形態	原則:勤務しながら教材学習　・集合研修:演習・実習に参加:2日間程度/週						※行為の修了試験・技能試験後、所属長・診療科医師と調整のうえ、特定行為:5症例を自部署にて取得					
①集中治療領域	□eラーニング教材学習(自己学習) □演習・実習は集合研修に参加 ＊6月末:修了試験(集合試験)			eラーニング教材学習(自己学習)取得行為の学習のみ演習・実習参加(集合)			15行為×5=75行為					修了式
②救急領域							15行為×5=75行為					
③外科術後病棟管理領域							20行為×5=100症例					
④麻酔管理領域							15行為×5=75症例					
⑤在宅・慢性期領域							5行為×5=25症例					
⑥循環器領域							20行為×5=100症例					
⑦腎臓・透析領域							10行為×5=50症例					

【参考資料:標準学習進度表】

2025年度　学習進度予定表

科目		日数 234 / 時間	履修期間(1年間) 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			21	20	21	22	17	20	20	18	20	19	18	18
共通科目	臨床病態生理学	32												
	臨床推論	46												
	フィジカルアセスメント	47												
	臨床薬理学	47												
	疾病・臨床病態概論	41												
	医療安全学/特定行為実践	45												
	基礎実習ⅠⅡ													
	合計	258												
区分別科目	区分1　呼吸器(気道確保に係るもの)関連	12												
	区分2　呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	47												
	区分3　呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	12												
	区分4　循環器関連	28												
	区分5　心嚢ドレーン管理関連	10												
	区分6　胸腔ドレーン管理関連	17												
	区分7　腹腔レーン管理関連	12												
	区分8　ろう孔管理関連	28												
	区分9　栄養に係るカテーテル管理	10												
	区分10 栄養に係るカテーテル管理	15												
	区分11 創傷管理関連	38												
	区分12 創部ドレーン管理関連	9												
	区分13 動脈血液ガス分析関連	19												
	区分14 透析管理関連	12												
	区分15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	19												
	区分16 感染に係る薬剤投与関連	30												
	区分17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16												
	区分18 術後疼痛管理関連	9												
	区分19 循環動態に係る薬剤投与関連	35												
	区分20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	30												
	区分21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連	17												
	統合実習													
	合計	425												
領域別パッケージ	①集中治療領域:9区分15行為　〈期間:10ヶ月〉	162.0												
	②救急領域:7区分15行為　〈期間:10ヶ月〉	155.5												
	③循環器領域:8区分20行為　〈期間:10ヶ月〉	183.0												
	④外科術後病棟管理領域:12区分20行為　〈期間:10ヶ月〉	199.0												
	⑤麻酔管理領域:7区分15行為　〈期間:10ヶ月〉	150.5												
	⑥腎臓・透析領域:5区分10行為　〈期間:10ヶ月〉	91.0												
	⑦在宅・慢性期領域:5区分5行為　〈期間:10ヶ月〉	87.5												